

【山武地域②】平成30年度 飼料用米多収品種現地実証展示ほ 成績の概要

1 展示の概要

設置場所	山武市	品種	夢あおば
土性	砂壤土	播種日	4月8日
播種量	160g/箱	移植日	5月14日
幼穂形成期	6月26日	出穂期	7月21日
成熟期	9月14日	収穫日	9月19日

2 結果の概要(成熟期の調査結果と収量)

稈長	78.9cm	穂長	19.4cm
穂数	338本/m ²	倒伏程度	—
粗玄米重	678kg/10a	標準単収値	556kg/10a

3 多収に向けた栽培管理のポイント及びその取組実績

(1) ほ場の土づくりの実施

・堆肥種類：—	・施用量：—
・施用時期：—	

(2) 多収品種に必要な量の施肥 ※推奨量は、ページ下の参考のとおりです

・(基肥) N量：8.4kg/10a	※肥料銘柄：援農化成
・(追肥) N量：2.9kg/10a	※肥料銘柄：サンライトNKV1
追肥実施日：7月7日	

(3) 冷害を避けるための適期の移植

・移植日(5月中旬を推奨)：5月14日

(4) 適切な栽植密度、植付本数で植え付ける

・栽植密度(55株/坪を推奨)：51株/坪
・植付本数(4~6本/株を推奨)：5.6本/株

4 考察等

夏場の高温による登熟歩合の低下があったが、栽培管理のポイントに基づいた管理の実施によって、高い収量を得ることができた。

(参考) 多収品種に必要な施肥量

	夢あおば
基肥N量	12kg/10a(砂質土の場合)
穂肥N量	3kg/10a

※穂肥は、幼穂形成期(幼穂が1~2mmの時期)に施用します